

XML形式の電子報告書作成に当たっての留意事項

Excel テンプレート入力方式において、社内システム等から、直接XML形式の電子報告書（以下、「XML送信ファイル」という）を作成する場合、以下の点にご留意ください。

（留意事項1）ファイル名称、拡張子

XML送信ファイルのファイル名称は、半角英数文字で任意に付与して下さい。また、拡張子は、必ず、「.xml」として下さい。

（留意事項2）「該当なし」報告時の取扱い

「該当なし」報告時には、XML送信ファイルの取込み（送信）は不要です。

（留意事項3）使用可能文字

XML送信ファイルにおいて使用可能な文字は、以下のとおりです。

- ・ 1バイト文字の英数字および記号：JISX-0201-1997
- ・ 2バイト文字の英数字、記号、ひらがな、カタカナ、漢字：JISX-0208-1997
（漢字については、JIS 第一水準漢字および JIS 第二水準漢字）

ただし、以下のものは使用しないでください。

- ・ 「&」、「'」、「"」、「<」、「>」、「&」、「'」、「"」、「<」、「>」
- ・ 半角カタカナ

また、文頭に数式を表す記号（「=」など）は使用しないでください。

送信ファイル名、添付ファイル名に以下のファイル名および文字を使用しないでください。

- ・ 「INDEX.HTML」、「KOSEJYOH.XML」、「ZNTAIKYT.XML」、
「999999E9999999.HTML」（「9」は任意の数字）
- ・ 「;」（半角セミコロン）
- ・ 「.」（半角ピリオド。ただし、拡張子に付く「.」は問題なし）

例：abc.001.xls → NG abc001.xls → OK

—— 例えば、報告省令様式14「証券売買契約状況等報告書」では、証券種類（外貨証券）や証券銘柄（円払証券）の名称を入力して頂くことになっていますが、この際「.」（半角）や「&」（半角）は使用できませんので、ご注意ください。

具体的には、証券種類（外貨証券）に「コマーシャル・ペーパー」と入力する場合、「.」（半角）は本システムで使用できる文字（1バイト文字の英数字および記号：JISX-0201-1997）に含まれていないため使用できません。また、証券銘柄（円

払証券) をアルファベットで入力する場合、「&」(半角) は使用できません。「・」や「&」を使用する場合は、必ず全角文字にしてください。

(留意事項 4) XML 構造設計書の属性欄の「全角」の意味

XML 構造設計書の属性欄に、「全角」と定義されている項目については、全角文字のほか、半角英数字の入力が可能であることを意味しています。

—— XML 構造設計書については、日本銀行ホームページの「電子様式の画面レイアウトおよび XML 構造設計書のダウンロード」をご参照ください。

(留意事項 5) 未記入の表部分のタグ省略の取扱い

報告様式内の表形式入力欄の部分については、XML 構造設計書上、次の 2 種類に分けられます。

- (1) XML 構造設計書において、「繰返」欄に繰返回数¹の記述があるもの(以下、「明細表」という)
 - 明細タグ (<〇〇-明細></〇〇-明細>) や合計タグ (<〇〇-合計></〇〇-合計>) が含まれるものです。
- (2) XML 構造設計書において、「繰返」欄に記述がないもの(以下、固定表という)
 - 明細タグ (<〇〇-明細></〇〇-明細>) や合計タグ (<〇〇-合計></〇〇-合計>) が含まれないもの(様式 2 1、3 3、3 4 には合計タグが含まれますが、「繰返」欄には繰返回数がないため、固定表に該当します)。

それぞれの場合における記述方法は、以下のとおりです。

- (1) の場合: 未記入の明細表が存在する場合、単位タグ (<単位>〇〇円</単位>) を除き、明細タグや合計タグは省略することが可能です(別添 1 参照)。なお、合計タグや明細タグに親子関係(階層が深いもの)がある場合は一括省略してください。
- (2) の場合: 未記入の固定表が存在する場合、タグの省略はできません(別添 2 参照)。

(留意事項 6) XML 送信ファイル取込みエラー発生時のエラー箇所表示方法

XML 送信ファイルを日本銀行のシステムで取込む際に、エラーが発生した場合には、以下のようにエラーを通知します。このため、表示用シートを独自に開発される場合には、日本銀行から提供される Excel テンプレートの報告項目に行列番号をあわせて作成して下さい。

—— Excel テンプレートの画面レイアウトは、日本銀行ホームページの「電子様式の画面レイアウトおよび XML 構造設計書のダウンロード」をご参照ください。

- (1) XML構成要素に誤りがあるか、XML構造設計書通りに作成されていない場合
到達エラー画面の「メッセージ内容」欄に、エラー箇所として、XML送信ファイルの行数および要素を「XML ファイルの構文エラーが発生しました。ご確認ください。
行数 行番号：要素“要素名”～」の形式で表示します（別添3参照）。
- (2) 報告データに誤りがある場合
到達エラー画面の「位置」欄に、エラー箇所として、Excel テンプレートの入力位置を「該当シート名：行番号」の形式で表示します（別添3参照）。

以 上